

全国市長会 新人インタビュー

今年4月に入った新人さん2人に仕事や就活のことを聞いてみました。全国市長会がどう
いう職場か分かっていただけると幸いです。是非ご覧ください！



①<今の仕事について>

(Wさん)

色々ありますが、主なものに全国市長会で扱っている各種保険の送金手続きがあります。扱う額の大きさに最初は緊張しました。文字どおりケタ違いなので（笑）

ほかには、職員が出張する際に必要な「旅費計算書」のチェックもしています。料金は適正か、日数やルートが規程に合っているかなどをチェックしています。出張の多い団体ですので、件数が重なると大変です。

(Sさん)

私は社会文教部で、雇用就業対策、国民年金に関する事項をメインで担当させてもらっています。そのほか先輩方のサポートや部内の庶務を任されています。

最近大変だったのは、会議の準備です。市長さん方が会議で使う資料にミスがあっ
けないので、チェックを入念にしましたし、当日の会場設営も色々バタバタするので大変でした。

②<全国市長会を知ったきっかけ>

(Sさん)

初めて全国市長会の名前を聞いたのは、大学のゼミでした。その時は就職先として意識はしていませんでしたが、就職活動をしていくなかで、リクナビに全国市長会の採用情報が出ていたので、応募しました。

(Wさん)

私は海外に留学していた関係で、就職活動は周囲よりかなり遅いスタートでした。帰国してから夏以降に職員募集している企業の中で「働きたい」と思えるのは全国市長会だけでした。

じつは、私が応募した企業は、全国市長会だけです。市長会に落ちたら就職留年を考えていたので、運命を感じました（笑）。



③<全国市長会の印象>

(Sさん)

社会文教部は、社会保障、社会福祉、文教行政等を所管している部署です。配属当初は在学中に学んだこととは全然違う分野だったので戸惑いました。

ただ、社会文教部で所管している福祉制度などは住民生活に直結するものなので、やりがいがあります。

また、席を並べて仕事をしている研修職員（市役所からの出向）の方から、市のさまざまな実情をうかがえることも魅力です。

(Wさん)

1月の会議傍聴研修（内定者対象の「理事・評議員合同会議」傍聴研修）のときは、耳に入る単語全てが分からなくて、これはヤバいと思ったのを覚えています。

職員数が70名程度なのに、全国的な規模の仕事をするって、入社前は正直イメージが湧かなかったのですが、入社して6月の総会（第88回全国市長会議）を迎えて、「ああ、本当に全国的な組織なんだ」と思いました。

総会には北海道から沖縄まで何百人もの市長さんがお見えになるし、安倍総理や野田総務大臣といったテレビでしか見たことがない方を来賓としてお迎えしたので、緊張しました。

④<今後の目標>

(Sさん)

社会文教部でさまざまな福祉政策を担当してみたいと思っています。とくに老人福祉、介護保険に興味があります。介護保険制度は市町村が実施主体となっている制度なので、すごくやりがいがあるのではないかと感じています。

(Wさん)

今後は企画調整室で働いてみたいです。各部の文書のとりまとめや秘書業務は非常にやりがいがあると考えています。

私は今の部署の上司が憧れです。女性の管理職で、仕事もバリバリ出来て部下にも優しいですし、お子さんも2人育てあげて、すごくカッコいい上司です。今後キャリアを重ねて、今の上司のような職員になるのが目標です。

